



2026年7月23日

各 位

会社名	株式会社イオレ
代表者名	代表取締役社長兼CEO 瀧野 諭吾 (コード：2334、東証グロース)
問合わせ先	執行役員CFO 貞方 渉 (TEL. 050-5799-9400)

Castrol、WOODMAN及び当社によるAIデータセンター向け次世代液冷／液浸型ソリューションに関する戦略的協業のお知らせ

当社は、Lubricants UK Limited（潤滑油ブランド「Castrol」、本社：英国、Director：Robert Jan Gerritsen、Shailendra Chandrakant Gupte、Robert David Mutchell、以下「Castrol」）及び株式会社WOODMAN（本社：東京都千代田区、代表取締役 小野 慎二郎）以下「WOODMAN」との間で、次世代液冷／液浸型データセンターソリューションの共同開発及び市場展開に関する戦略的協業を目的としたMemorandum of Understanding（以下「本MOU」）を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本協業の背景及び目的

生成AIの急速な普及に伴い、高性能GPUを大量に活用するAIデータセンターへの需要が世界的に拡大しております。一方で、GPU／CPUの高性能化に伴う消費電力及び発熱量の増加により、従来型の空冷方式のみでは対応が困難なケースが増加しており、次世代の液冷／液浸技術はAIデータセンターにおける重要な技術要素として注目されています。

当社はAIデータセンター事業を成長領域と位置付け、計算資源の確保及び供給能力の拡大に向けた取り組みを進めております。このたび、液冷／液浸技術分野においてグローバルな知見を有するCastrol、並びにデータセンター向けシステムインテグレーション能力を有するWOODMANと協業し、冷却技術領域におけるパートナーシップを構築することで、次世代AIデータセンターソリューションの提供体制を強化するとともに、データセンターの運営効率の向上を図ってまいります。

2. 本ソリューションの特長

本協業で展開するソリューションは、従来の空冷方式及び一部の液浸方式と比較して、以下の特長を有しております。

- 高い電力効率（PUE約1.10以下）による運用コストの低減
- 合成炭化水素系冷媒の採用による環境負荷の低減（日本の消防法上の指定可燃物の区分に対応した取扱いが可能）
- IT機器の長寿命化
- 高い静音性と設置自由度。データセンターのみならず、工場・オフィス・医療施設等の環境においてもエッジAIデータセンターとしての活用が可能
- 液浸型ソリューションとは：AI・HPCサーバーを専用の絶縁性液体で直接冷却する次世代冷却技術です。高密度GPU環境における冷却効率の向上と省電力化を実現

3. 各社の役割

本MOUに基づき、各社は以下の役割を担い、次世代液冷／液浸型データセンターソリューションの共同開発及び市場展開を推進いたします。

- Castrol：液冷／液浸型冷媒及び関連技術の提供、技術検証・評価
- WOODMAN：データセンター向けシステムインテグレーション及び実装支援
- 当社：日本市場におけるAIデータセンター開発基盤及び顧客ネットワークを活用した事業開発

当社は日本国内において、当社事業に関連するデータセンター開発パイプラインへの本ソリューションの導入を進めるとともに、データセンター事業者、システムインテグレーター及びインフラ投資家等とのネットワークを活用し、商業機会の創出及び事業開発を主導する役割を担います。

4. 相手先の概要

相手先①

(1)	名称	Lubricants UK Limited	
(2)	所在地	Chertsey Road, Sunbury On Thames, Middlesex, TW16 7BP, United Kingdom	
(3)	代表者の役職・氏名	Director : Robert Jan Gerritsen、Shailendra Chandrakant Gupte、Robert David Mutchell	
(4)	事業内容	鉱物油精製業	
(5)	資本金	750,000,000英ポンド	
(6)	設立年月日	1908年3月13日	
(7)	大株主及び持株比率	先方希望により非開示	
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
		人的関係	該当事項はありません。
		取引関係	該当事項はありません。

		関連当事者への 該当状況	該当事項はありません。
--	--	-----------------	-------------

※経営成績及び財政状態および業績については先方希望により非開示とさせていただきます。

相手先②

(1)	名称	WOODMAN株式会社	
(2)	所在地	東京都品川区東品川2丁目5番8号 天王洲パークサイドビル 15階	
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 小野慎二郎	
(4)	事業内容	AIサーバー・ストレージ販売・導入支援 モジュール型AIデータセンター開発・構築 データセンター事業コンサルティング	
(5)	資本金	300万円	
(6)	設立年月日	2017年10月6日	
(7)	大株主及び持株比率	経営陣98%	
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。
		人 的 関 係	該当事項はありません。
		取 引 関 係	該当事項はありません。
		関連当事者への 該当状況	該当事項はありません。

※経営成績及び財政状態および業績については、先方希望により非開示とさせていただきます。

5. 今後のスケジュール

当社は今後もAIデータセンター事業における技術力及び供給能力の強化を進めるとともに、パートナー企業との連携を通じて、日本国内におけるAIインフラ整備及び計算資源供給体制の拡充を推進してまいります。当社が現時点で想定する展開は以下のとおりです。

- 2026年6月9日
 - 本MOU契約締結日
- 2026年7月
 - 商用向け液浸型ソリューション及び運用ラックのテスト完了（予定）
- 2026年8月
 - 最新のNVIDIA社製AI推論向けGPUを搭載した液浸型ソリューションの販売開始（予定）
 - 当社の把握する限り、国内において液浸型ソリューションにメーカー保証・保守を付帯した商品としての展開は初となる見込みです。

- あわせて、当社とWOODMAN社の連携により、液浸型ソリューションの導入を検討するデータセンター事業者向けに、導入支援・ソリューション提供を開始する予定です。

● 2026年9月

- データセンターへの納入開始（予定）
- エッジAIデータセンターにおけるローカルLLMやAIワークフロー等の実装支援についても提供を開始する予定です。

6. 業績に与える影響

本件が2027年3月期の業績に与える影響につきましては、現在精査中であります。今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断及び仮定に基づくものであり、実際の結果は様々な要因により記載内容と異なる可能性があります。

7. 適時開示の遅延理由

本件につきましては、契約締結後、海外法人を含む関係当事者との間で、開示内容の確認、記載事項の精査および各社における社内確認・承認手続を進めてまいりました。これらの確認および調整に一定の時間を要しましたが、今般、開示に必要な確認が整ったことから、本日公表するものです。

以上